

盛岡大学短期大学部における 大学礼拝受講学生の意識調査について

吉 田 実

I 目的

学校法人盛岡大学及び盛岡大学短期大学部の創設者で初代学長の細川泰子は、昭和26年6月、各種学校盛岡生活学園創立当時より聖句「主を畏れることは知恵の初め。」(箴言1:7)というキリスト教の精神を教育の基盤とし、聖句「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」(テサロニケの信徒への手紙-5:14)を教室と会議室、事務室に掲示した。キリスト教の愛の精神をもって、社会に奉仕できる幅広い教養を身に付けた人材の育成を教育目標として掲げたのである。

その後、昭和39年4月生活学園短期大学を開設し、平成2年4月盛岡大学短期大学部に名称変更して現在に至るまで、一貫してキリスト教精神は変わらずに受け継がれてきている。

学園創設当初より続けられている大学礼拝は、建学の精神を理解し、学生の教育活動を支えるという意味で重要な役割を果たしてきたと思われる。しかし、短期大学設立から半世紀が過ぎ社会状況も大きく変化してきた。それにともない学生の意識も刻々と変化してきていると考えられる。これまでは、大学礼拝受講学生に対して、「礼拝ノート」への記入を指示しその点検を行ってきたが、学生の意識調査を行ったことは一度もなかった。

そこで、今回、大学礼拝受講学生の意識を知り、これを基礎資料として今後の学生指導の一助とする目的でアンケートによる調査を行った。

II 対象と方法

1 対象者

平成23年度入学生176名
(A組59名、B組59名、C組58名)

2 方法

全13回の大学礼拝(以下「礼拝」という。)終了後の平成23年8月8日(月)の同一時間内に記名で実施した。質問項目は、資料1に示した。

3 礼拝の概要

(1) 礼拝のねらい

学生便覧で説明する礼拝のねらいは、「本学の建学の精神として受け継がれているキリスト教の精神は、愛と奉仕の心を培いながら、円満な人格を形成することに努めることです。」(学生便覧12頁より)。「讃美歌、説教、祈りを通してキリストの心に触れ、目に見えない神を礼拝することにより、若き日の人生における、貴重な霊的な体験を得る場となります。」そして、「幼児たちに愛をもって保育にあたることのできる保育者の育成をめざしております。」(学生便覧41頁より)と示している。

これらのねらいを達成するためには、学生の内面に深く浸透し、精神を高めることが必要であり、それは在学期間のみならず一生涯に及ぶことにも繋がる。そこで、本学の礼拝のねらいを、学生の主体的な取り組みと定め、外面的活動の評価の目安として、出席状況を取りあげてみた。

(2) プログラム

礼拝は毎週金曜日、9時30分から10時15分まで、合同教室で行われる。司会は各クラスから選出された宗教委員(2名)が担当。司会進行の進め方は、図1に示した。奨励の牧師と学内外からのゲストは、表1に示した。

第1回の礼拝では、「大学礼拝について」のガイダンスを実施した。その内容は、キリスト教非信徒が多くを占めていることを配慮し、礼拝の目的やねらいには触れず、具体的な礼拝の

スタイルを説明した。配付資料は、資料2に示した。その上で、礼拝を経験することで率直な感想を「礼拝ノート」に毎回記入し、礼拝の時間内に提出することを指示した。

Ⅲ 結果及び考察

1 学生の出席率

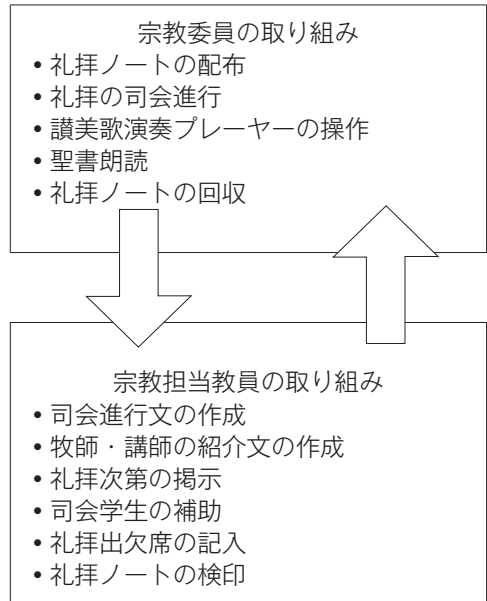
3クラス全体の平均出席率は97.04%であった。(A組94.55%、B組98.18%、C組98.40%) アンケート回収率は、在籍数176名から171名(A組56名、B組58名、C組57名)の回答を得た結果、97.16%になった。

2 選択肢による回答項目の結果

(1) 礼拝全体に対する学生の意識

「h この大学礼拝で学んだことは、あなたにとって役に立ちそうだと思いますか」について、4選択肢から回答を求めた。回答項目(以

図1



司会進行の進め方

表1 平成23年度 盛岡大学短期大学部 大学礼拝一覧【前期】

宗教委員会

| No. | 日付 | 礼拝名 | 奨励(講話)者 | メッセージ題・聖書 |
|-----|----------|----------------|---------------------------|----------------------------|
| 1 | 5月6日(金) | ガイダンス | 吉田 実 宗教主任 | |
| 2 | 5月13日(金) | 大学礼拝 母の日礼拝 | 盛岡仙北町教会 角谷 晋次 牧師 | マタイによる福音書 5章 1節~12節 |
| 3 | 5月20日(金) | | 盛岡大学短期大学部助教 吉村 哲 先生 | 讃美歌 312番 544番 学園歌 |
| 4 | 5月27日(金) | | 盛岡チャペル・本学講師 水田 賢次 牧師 | マタイによる福音書 8章 23節~27節 |
| 5 | 6月3日(金) | | 盛岡大学客員教授 吉丸 蓉子 先生 | 特別メッセージ 「絆」 |
| 6 | 6月10日(金) | 創立記念礼拝 | 盛岡仙北町教会 角谷 晋次 牧師 | テサロニケの信徒への手紙 5章 16節~22節 |
| 7 | 6月17日(金) | 花の日礼拝 父の日礼拝 | 盛岡大学・短期大学部 望月 善次 学長 | 箴言 1章 8節~9節 |
| 8 | 6月24日(金) | | 盛岡大学短期大学部助教 吉村 哲 先生 | 讃美歌 学園歌 |
| 9 | 7月1日(金) | 特別賛美 ゴスペル | 善隣館書店店長 佐々木 章 氏 | コヘレトの言葉 12章 1節 |
| 10 | 7月8日(金) | | 盛岡仙北町教会 根内 純 牧師 | マタイによる福音書 7章 24節~27節 |
| 11 | 7月15日(金) | | 盛岡大学短期大学部名誉教授 中村 ウメ 先生 | コリントの信徒への手紙 13章 4節~7節 |
| 12 | 7月22日(金) | | 盛岡みなみ教会 大塚 史明 牧師 | エフェソの信徒への手紙 5章 14節 |
| 13 | 7月29日(金) | | 盛岡チャペル・本学講師 水田 賢次 牧師 | 詩編 121章 1節~8節 |

下「項目」という。)「①そう思う」、項目「②少しそう思う」を合わせると、全体の平均比率は、91.81%であった。また、「g この大学礼拝におけるあなたの学習は、満足できるものだと思いますか」について、同様に4選択肢から回答を求めた。項目「①そう思う」、項目「②少しそう思う」を合わせると、平均比率は89.47%であった。このことから、礼拝を体験しての満足度は、良好であったと判断される。

(2) 各質問事項に対する学生の意識

「a あなたは本学入学以前に、礼拝を体験したことがありますか」について、項目「①はい」、項目「②いいえ」の2選択肢から回答を求めた。次に、「b あなたはこの大学礼拝を休んだ回数は」について、項目「①0回」、項目「②1回」、項目「③2回」、項目「④3回以上」の4選択肢から回答を求めた。「c 大学礼拝の時間以外で、聖書または讃美歌を利用しましたか」について、項目「①よく利用した」、項目「②たまに利用した」、項目「③ほとんど利用しなかった」、項目「④全く利用しなかった」の4選択肢から回答を求めた。「d 指導

の牧師先生または講師の先生のお話は、分かりやすかったですか」から「h この大学礼拝で学んだことは、あなたにとって役に立ちそうだと思いますか」までの設問については、項目「①そう思う」、項目「②少しそう思う」、項目「③あまりそう思わない」、項目「④そう思わない」の同一の回答項目4選択肢から求めた。設問bからhまでの回答項目を比較をするため、回答項目の説明文を省き項目の丸数字だけを作図し、その分布を、図2に示した。

入学以前に礼拝を経験した学生は、39名(22.81%)であった。他の学生132名(77.19%)は、礼拝を初めて経験すると考えられる。学生の宗教観と出身高等学校に関する設問は設けていないため、礼拝経験者の中におけるキリスト教信徒の割合は不明である。

また、回答項目4選択肢のなかで、項目「①そう思う」の回答が最も高いのは、「e 指導の牧師先生または講師の先生の熱意を感じましたか」であった。一方、項目「①そう思う」の回答が最も低いのは、「c 礼拝の時間以外で、聖書または讃美歌を利用しましたか」であった。

図2 全学生171名の回答比較

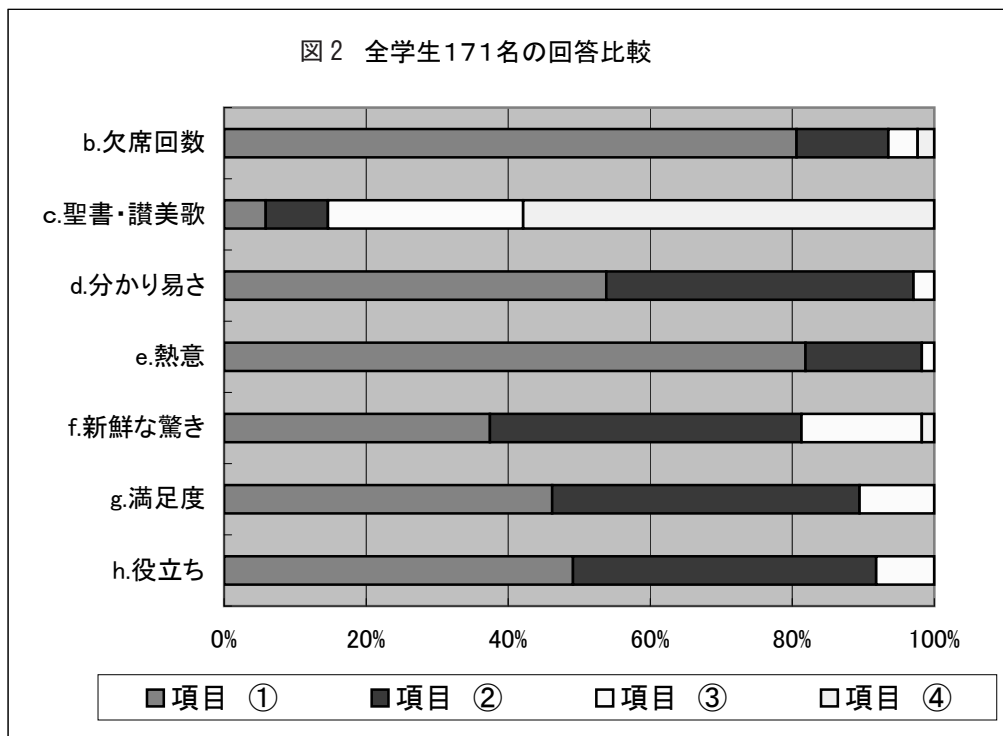


図3 礼拝経験者39名の回答比較

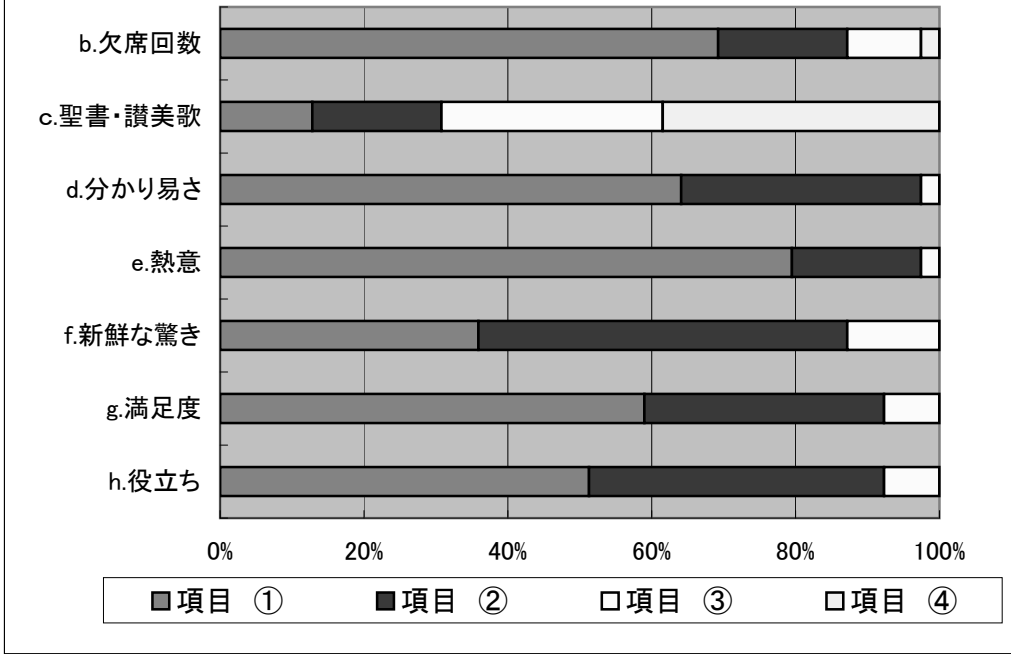
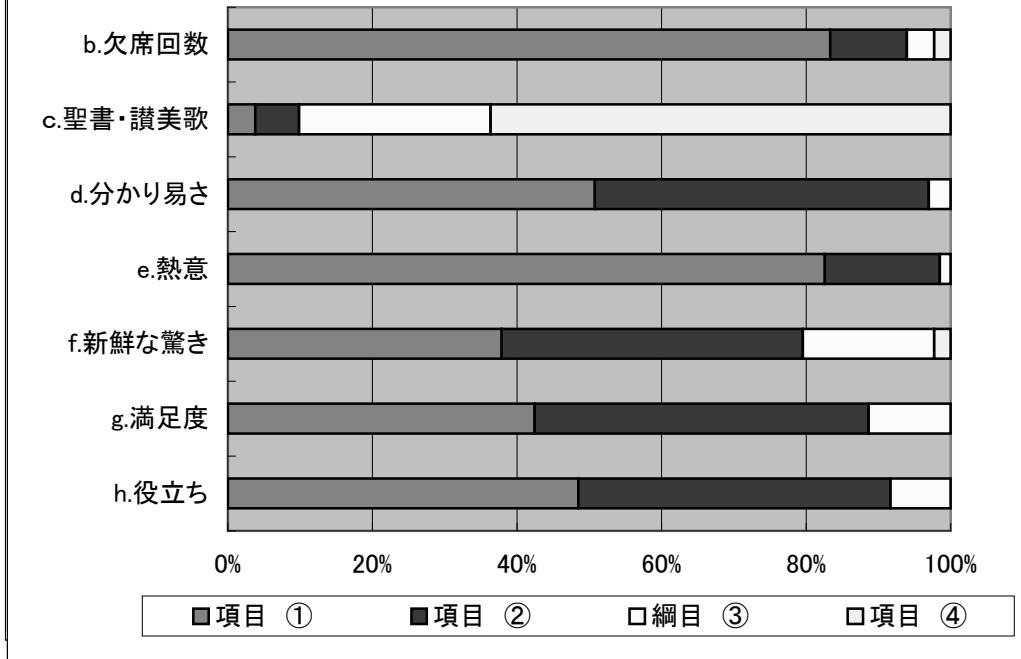


図4 礼拝未経験者132名の回答比較



次に、礼拝経験者と礼拝未経験者で礼拝に対する意識に差があるかどうかを調査する目的で、全体を2グループに分けて項目ごとの比較を行った。礼拝経験者39名の結果を図3、礼拝未経験者132名の結果を図4に示した。

その結果、「c 礼拝の時間以外で、聖書または讃美歌を利用しましたか」については、全学生では、項目「④全く利用しなかった」が、57.89%であった。礼拝経験のある学生の項目「④全く利用しなかった」の回答は、38.46%であったのに対して、礼拝経験のない学生での回答は、63.64%であった。このことから、礼拝経験のない学生は、普通の学生生活での聖書・讃美歌の活用は不慣れではあるが、時間割に組み込まれた時間内には、活用していたと考えられる。また、「g 礼拝におけるあなたの学習は、満足できるものですか」に対して、礼拝経験のある学生の項目「①そう思う」の回答は、58.98%であったのに対して、礼拝経験のない学生は、42.43%であった。これとは逆に、項目「②少しそう思う」は、礼拝経験のある学生が、33.33%であるのに対し、礼拝経験のない学生のほうが、46.21%と高い値を示した。

すなわち、礼拝経験の有無が満足度に影響する傾向が認められたのである。礼拝経験のある学生の満足度は高かった一方で、礼拝経験のない学生は、満足とまではいたっていないことが考えられる。このなかにあつて、出欠席状況は、「b あなたがこの大学礼拝を休んだ回数は」について、全体では、項目「①0回」が、80.58%であった。宗教担当教員が記録した出欠席簿も「3クラス全体の平均出席率は97.04%」であり、入学前の礼拝経験の有無にかかわらず良好であったことから、学生自身が、牧師やゲストの熱心な指導を受けながら、礼拝を主体的に取り組んでいたと考えることができる。

3 自由記述による回答結果

回答文の主要部分を列挙し、その回答から肯定的記述2件以上と否定的記述は極めて少なかったため制限せずに、資料3に示した。

(1)「本学特別活動の一環としての『大学礼拝』を受講し、実践したことで何を感じ、何を考

えましたか。述べてください。」の設問に対しての肯定的記述としては、「家族、人への感謝の気持ち」が最も多く、「親、神から見守られている」、「今後の人生に役立つ」などが次に続いていた。否定的記述としては、「内容が分からないと真剣に聞けない」が1名の学生から見られた。

(2)「今現在、印象に残っている礼拝について、指導の先生・聖書・讃美歌等を述べてください。そして、その訳も説明してください。」の設問に対して、「話し方が上手い」、「情熱的で熱心さがある」、「歌が心に響く」などの記述が多く見られた。

(3)「本学幼児教育科は、人格形成の重要な時期にあたる幼児たちに、愛をもって保育にあたることのできる保育者の育成を目指しております。(学生便覧より)。このことから、保育者を志すあなたの礼拝に臨む姿はいかがでしたか。その所感を述べてください。」の設問に対して、回答項目【自らの姿】の肯定的記述としては、「きちんと聞いた」、「真剣に聞いた」、「礼拝の意味を考えた」などが多く、否定的記述としては、「たまに寝た」、「お喋りした」、などが見られた。

次に、同様の設問での回答項目【全体的所感】では、肯定的記述として、「皆よく参加していた」が多かった。一方、否定的記述として、「うるさい」、「眠っていた」、「真面目と不真面目に別れてしまった」などが見られた。

4 キリスト教主義を掲げる他大学

他大学の礼拝を示す資料を検索するために、キリスト教学校間の担当者交流記事やキリスト教学校教育同盟の研修会そして同同盟の月刊誌などから、現状を把握することにした。

その結果、キリスト教学校が設立されて100年を経過した今日でも、学校機関における礼拝の取り組みに関するテーマは永永と語り続けられていることを以下の内容に示す。

(1) キリスト教大学での礼拝に関するもの

○ クラーク学園理事長の深町正信氏は、「キリスト教学校教育同盟結成100周年記念式典」でのシンポジストとして、「キリスト教学校とは礼拝する学校・大学」との指摘を発題した。¹⁾

○ 横浜共立学園学園長、坂田雅雄氏は、月

刊紙「キリスト教学校教育同盟」646号1頁に「キリスト教学校の働き」は「キリスト教学校は礼拝を守ることを第一とする。」との投稿があった。²⁾

○ 学校法人東北学院。ホームページには、「大学礼拝とは、聖書が神の言葉として公に語られる場であり、また、東北学院大学が神の前で自らの本質的意義を再認識する時です。『礼拝から出発して礼拝に帰る』が東北学院の基本姿勢です。」³⁾

(2) 学生指導に関するもの

○ 青山学院大学宗教主任、塩谷直也氏は、月刊紙「キリスト教学校教育同盟」632号2頁に「ノンクリスチャンに十字架を、どのように伝えるか」という講演のなかで、「伝道者が福音を伝えることは、十字架を伝えることであるがこれは難しい。教訓や道徳の方が伝えやすいと感じる。」と発言した記事が投稿されていた。⁴⁾

○ 現代学生の気質として、大阪女学院大学准教授、梶原直美氏は、月刊紙「キリスト教学校教育同盟」636号7頁に、「学生と大学教育について」と題して、「学生達は生来マニュアル化された社会のなかで育てられ、考える力や耐性が弱化している。狭い価値観のなかで勝ち負けの判断をし、『よく生きる』ことより『うまく生きる』ことに意識が向く傾向が強い」と指摘し、「様々な側面を持つ社会の中で、学生が社会の様々な価値観の波を受けながらもそれに飲み込まれず、それらに気づきながら、自己と他者への愛に自分を開き、社会に奉仕できる人として育つよう援助する使命が、キリスト教大学に課されているではないか。」と指摘した記事が投稿されていた。⁵⁾

(3) 学生指導における教職員の現状に関するもの

○ 明治学院学院長、久世了氏は、「キリスト教学校教育同盟結成100周年記念式典」でのシンポジストとして、「キリスト教学校の将来展望は、現在教職員の多数を占めるに至っているノンクリスチャンの方たちとクリスチャンが『心をひとつに』しての教育の営みに励むことができるかどうかということである。そして全ての教職員がキリスト教に基づく人間教育を目指す『建学の精神』においての一致し、文字

通り一体となって日々の営みを取り組むことは可能であり、そうようにするならば、キリスト教の将来は決して悲観するべきものではない。」との指摘があった。⁶⁾

IVまとめ

1 意識調査で分かったこと

礼拝に出席した殆どの学生が、指導の牧師または講師の熱意を強く感じていたことが示された。礼拝内容の理解と学習の満足度では、礼拝経験のある学生は、高い満足感が認められたが、礼拝経験のない学生では、高い満足感を得られなかったことが示された。しかし、出欠席状況の調査では、礼拝経験のない学生の殆どが毎回出席していたことも示された。これらのことから、これまでに礼拝経験のない学生もまた、内容を理解するために、熱心な指導者のもとで、主体的に礼拝に臨んでいたことが分かった。また、他の学生の礼拝に取り組む態度については、「私語」や「不真面目」に気付いてはいるものの、注意をするなどの具体的な行動を起こす学生は少ないことも読み取れた。

本学の礼拝は授業時間割内に組み込まれ、司会を学生が担い聖書を朗読し讃美歌を唄うという一連の内容を学生が主体的に体験するスタイルを取っている。その結果、学生は、聖句に触れ、熱心な牧師の奨励や講師の講話から、将来そして現在の生活のなかに、感謝の気持ちや人と人とのつながりの大切さを見いだしながら、自身の将来に役立てたいという思いで、主体的に出席しているものと考えられる。

この背景として、日本人の宗教観は、結婚式を神式または教会で行い、クリスマスは祝い、葬式を寺院で行うなどという多神教的な生活様式に慣れ親しんでいることが考えられる。そして、一神教にこだわることなく、時々の場合に応じて、自分にあった宗教的イベントを選択していると考えられることができる。しかし、他の学生への注意喚起は避けたがるという人間が本来持っている利己的な側面をも示す結果にもなった。

学生の大部分が礼拝未経験者で礼拝経験のある学生が少ない本学のような大学礼拝のねらい

を、「学生の主体的な取り組みと定め、外面的活動の評価の目安として出席状況をとりあげた」として、礼拝には全員欠席しないように指導を続けてきたことは、方向性として誤りではなかったと評価できよう。

これらのことから、目的意識をしっかりと持ちながら意欲あふれる学生とともに、現在の礼拝を肅粛と行うことこそが、本学教育の営みのなかで、日常的に建学の精神を意識することに繋がり、キリスト教主義を掲げる本学の礼拝のねらいの達成に結び付くことが期待される。

2 今後の礼拝指導の方向性

今回の意識調査の結果から、平成23年度前期礼拝のねらいを、学生の出席状況から評価したことは方向性として誤ってはいなかったと考へ、次期礼拝への継続を願うものである。

その上で、今後の方向性としては以下の点に留意する必要があると思われる。

学生はキリスト教信徒あるいはキリスト教非信徒であるか否かで選抜されることなく入学するので、全学生に礼拝をどのように指導するかが重要な課題である。また、その指導を担う教職員も同様にキリスト教非信徒であることも予想される。キリスト教主義を建学の精神と掲げている本学では、久世了氏の「クリスチャンとノンクリスチャンが建学の精神において一致し、一体となって日々の営みを取り組むことである」との指摘を受け止めることの必要性を強く感じる。また、酪農学園大学、高橋一宗教主任は、酪農学園大学ホームページのなかの、「酪農学園大学キリスト教教育」で、「建学の精神を日常の中で表現する中心的な場として、学校礼拝（大学礼拝）があります」と示している。⁷⁾

つまり、大学教育の日常の営みのなかで、学生らに止まらず教職員一丸となった取り組みが、キリスト教主義を建学の精神に掲げる本学の社会的な位置付けにも繋がるのであると考へる。

V 注

- 1) 深町正信，クラーク学園理事長「キリスト教学校教育同盟結成100周年記念シンポジウム・キリスト教学校教育同盟の回顧と展望」，発題要旨・「キ

リスト教学校とは礼拝する学校・大学」との指摘。月刊紙「キリスト教学校教育同盟」640号4頁

- 2) 坂田雅雄，横浜共立学園学園長，「キリスト教学校の働き」，月刊紙「キリスト教学校教育同盟」646号1頁「キリスト教学校は礼拝を守ることを第一とする。」
- 3) 学校法人東北学院。ホームページ，「大学礼拝とは，聖書が神の言葉として公に語られる場であり，また，東北学院大学が神の前で自らの本質的意義を再認識する時です。『礼拝から出発して礼拝に帰る。』が東北学院の基本姿勢です。」
- 4) 塩谷直也，青山学院大学宗教主任，講演「ノンクリスチャンに十字架を，どのように伝えるか」月刊紙「キリスト教学校教育同盟」632号2頁「伝道者が福音を伝えることは，十字架を伝えることであるが，これは難しい。教訓や道徳の方が伝えやすいと感じる。」
- 5) 梶原直美，大阪女学院大学准教授，「学生と大学教育について」，月刊紙「キリスト教学校教育同盟」636号7頁「学生達は生来マニュアル化された社会のなかで育てられ，考へる力や耐性が弱化している。狭い価値観のなかで勝ち負けの判断をし，『よく生きる』ことより『うまく生きる』ことに意識が向く傾向が強い」と指摘し，「様々な側面を持つ社会の中で，学生が，社会の様々な価値観の波を受けながらもそれに飲み込まれず，それらに気づきながら，自己と他者への愛に自分を開き，社会に奉仕できる人として育つよう援助する使命が，キリスト教大学に課されているではないか。」
- 6) 久世了，明治学院学院長，「100周年記念シンポジウム・キリスト教学校教育同盟の回顧と展望」，発題要旨・「全ての教職員が一体で取り組む」月刊紙「キリスト教学校教育同盟」640号5頁，「キリスト教学校の将来展望は，現在教職員の多数を占めるに至っているノンクリスチャンの方たちとクリスチャンが『心をひとつに』しての教育の営みに励むことができるかどうかということである。そして全ての教職員がキリスト教に基づく人間教育を目指す『建学の精神』において一致し，文字通り一体となって日々の営みを取り組むことは可能であり，そうようにするならば，キリスト教の将来は決して悲観するべきものではない。」
- 7) 高橋一，酪農学園大学宗教主任，「酪農学園大学ホームページ」のなかの「酪農学園大学キリスト教教育」，「建学の精神を日常の中で表現する中心的な場として，酪農学園大学は学校礼拝（大学礼拝）があります。」

資料 1

『大学礼拝』を受講して

前期大学礼拝のまとめとして、これまでの礼拝を振り返っていただき、学習状況や礼拝内容について回答してもらうことを通じて、今後の礼拝内容や進行方法の見直しに役立たせるために行うものです。ご協力をお願いします。

開出日 8月 8日 (月)
12:30まで
レポート・ボックス

大学礼拝 担当 吉田 実

幼児教育科 1年 組 番

※裏面活用可

氏名

■ 下記の事項について該当する選択肢を1つ選んで番号をマークしてください。

- a あなたは本学入学以前に、礼拝を体験したことがありますか？ ① はい ② いいえ
- b あなたがこの大学礼拝を休んだ回数は？ ① 0回 ② 1回 ③ 2回 ④ 3回以上
- c 大学礼拝の時間以外で、聖書または讃美歌を利用しましたか？
① よく利用した ② たまに利用した ③ ほとんど利用しなかった ④ 全く利用しなかった
- d 指導の教師先生または講師の先生のお話は、分かりやすかったですか？
① そう思う ② 少しそう思う ③ あまりそう思わない ④ そう思わない
- e 指導の教師先生または講師の先生の熱意を感じましたか？
① そう思う ② 少しそう思う ③ あまりそう思わない ④ そう思わない
- f 礼拝中及び礼拝以外の時間に、新鮮な驚きを感じる瞬間がありましたか？
① そう思う ② 少しそう思う ③ あまりそう思わない ④ そう思わない
- g この大学礼拝におけるあなたの学習は、満足できるものだと思いますか？
① そう思う ② 少しそう思う ③ あまりそう思わない ④ そう思わない
- h この大学礼拝で学んだことは、あなたにとって役に立ちそうだと思いますか？
① そう思う ② 少しそう思う ③ あまりそう思わない ④ そう思わない

■ 本学特別教育活動の一環としての『大学礼拝』を受講し、実践したことで何を感じ、何を考えましたか。述べてください。

【何を感じ、何を考えましたか】

■ 今現在、印象に残っている礼拝について、指導の先生・聖書・讃美歌等を述べてください。そして、その訳も説明してください。

【印象に残っている礼拝】

- ・ 先生 その訳
- ・ 先生 その訳
- ・ 先生 その訳

■ 本学幼児教育科は、人格形成の重要な時期にあたる幼児たちに、愛をもって保育にあたる保育者の育成を目指しております。(学生便覧より) このことから、保育者を志すあなたの礼拝に臨む姿はいかがでしたか。その所感を述べてください。

【自ら姿】

【他の学生の姿】

最後に、ご回答ありがとうございました。2011. 8. 8

資料 3

2011「大学礼拝」を受講して

■本学特別教育活動の一環としての「大学礼拝」を受講し、実践したことで何を感じ、何を考えましたか。述べてください。

【何を感じ、何を考えましたか】

| | | | |
|--|---|--|---|
| <p>【A組プラス思考】</p> <p>親、神から見守られている 8 家族、人への感謝の気持ち 7 今後の人生に役立つ 7 考え方が深くなった 3 他人を大切に思う 3 愛とは何か 2 人との関わり 2 保育者には礼拝が必要 2 新鮮だった 2 牧師の熱意 2 信じることで心が温かくなる 2</p> | <p>【A組マイナス思考】</p> <p>内容が分からない と真剣に聞けない 1</p> | <p>【B組プラス思考】</p> <p>感謝する気持ち 11 親、神から見守られている 11 今後の人生に役立つ 7 人に支えられている 3 命の大切さ 3 当たり前のことを改めて考えた 2 周りをきちんと見る大切さ 2 イエス・神を感じた 2 考え方が深くなった 2 イエスは偉大だ 2 震災から他人の幸せを願う 2 考え方や意識が変わった 2 人を慈しまいたい 2</p> | <p>【C組プラス思考】</p> <p>感謝する気持ち 7 牧師の熱意 6 命の大切さ 5 親、神から見守られている 3 礼拝の深さ 3 全て見られている 3 今後の人生に役立つ 3 聖書だけでなく受けれた 3 イエス・神の偉大さ 3 保育者には礼拝が必要 3 人との繋がりと絆 2 人生観が変わった 2</p> |
| | <p>【B組マイナス思考】</p> <p>なし</p> | <p>【C組マイナス思考】</p> <p>なし</p> | |

■今現在、印象に残っている礼拝について、指導の先生・聖書・讃美歌等を述べてください。そして、その訳も説明してください。

【印象に残っている礼拝】 2名の先生を選んでください 在籍数 176名 (A組59名 B組59名 C組58名)

| | |
|--|--|
| <p>印象に残っている先生 上位 6名 (アイクエオ順)</p> <p>大塚 史明 先生 佐々木 康 先生 中村 ウメ 先生 水田 賢次 先生 望月 善次 先生 吉丸 香子 先生</p> | <p>出席状況 13回 (5/6 ~7/28) の 平均出席率</p> <p>A組 94.6 % B組 98.2 % C組 98.4 %</p> |
|--|--|

■本学幼児教育科において、人格形成の重要な時期にあたる幼児たちに、愛をもって保育にあたる保育者の育成をめざしております。(学生便覧より) このことから、保育者を志す貴方の礼拝に臨む姿はいかがでしたか。

【自らの姿】

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| <p>【A組プラス思考】</p> <p>きちんと聞いた 12 真剣に聞いた 8 礼拝の意味を考えた 3 集中できた 2</p> | <p>【A組マイナス思考】</p> <p>たまに寝た 5 喋った 2 集中力不足 2</p> | <p>【B組プラス思考】</p> <p>しっかり聞いた 16 真剣に聞いた 13 神を信じる 2 理解に努めた 2</p> | <p>【B組マイナス思考】</p> <p>私語をした 2 寝ていた 2 理解に努めるべき 2 良くない態度 2</p> | <p>【C組プラス思考】</p> <p>しっかり聞いた 10 真剣に取り組んだ 6 真面目に取り組んだ 3</p> <p>【C組マイナス思考】</p> <p>理解に努めるべき 2 集中力不足 2</p> |
|--|--|--|--|--|

【全体的な所感】

| | | | |
|--|---|---|--|
| <p>【A組プラス思考】</p> <p>皆よく参加していた 26</p> <p>【B組プラス思考】</p> <p>皆よく参加していた 37</p> <p>【C組プラス思考】</p> <p>皆よく参加していた 34</p> | <p>【A組マイナス思考】</p> <p>うるさい 12 真面目と不真面目に 別れてしまった 5 眠っていた 3 遅刻は礼拝を乱す 3 態度を良くしてほしい 3</p> | <p>【B組マイナス思考】</p> <p>うるさい 8 真面目と不真面目に 別れてしまった 7 真面目に受けてほしい 2</p> | <p>【C組マイナス思考】</p> <p>うるさい 10 眠っていた 6 先生に失礼だ 3 真面目と不真面目に 別れてしまった 2 聞く姿勢が大事 2</p> |
|--|---|---|--|

以上です。 2012.1.20 文責吉田実